

令和5年度 中学校1・2年生対象 中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J YEAR 1, ESAT-J YEAR 2) のお知らせ

1

ESAT-J YEAR 1, ESAT-J YEAR 2 とは？

今年度より実施する、中学1・2年生対象の英語スピーキングテストです。
このテストでは、小学校で学んできたことに加え、中学校の授業で学んだ英語で
「どのくらい話せるようになったか」 が分かります。



英語の「話すこと」の力は、様々な人々と自分の考えや気持ちなどを伝え合うためにとても重要です。その力を伸ばしていくためには、テストを通して自分がどの程度できるようになったかを振り返り、結果を基に、今後の目標を設定し、学習を計画することがとても役立ちます。

**授業で学習した「話すこと」を試す機会です。
あなたの力を十分に発揮してください。**

テスト後、テストの結果は専用のマイページで確認することができます。マイページでは、「あなたが英語を使ってできること」や「学習アドバイス」が掲載されており、英語の「話すこと」の力を向上させるための具体的な学習方法を知ることができます。そして、自分の目標設定に役立てることができます。

2

実施日・会場 | いつ、どこで行われるのですか？

2024 年 1 月から 3 月の間に、皆さんが通う学校で行われます。
実施日は学校から連絡があります。

3

受験の流れ | どのように申し込むのですか？

個人による事前の申し込みは必要ありません。

4

実施方法 | どのように行われるのですか？

タブレットとヘッドセット（マイク付きヘッドフォン）を使います。

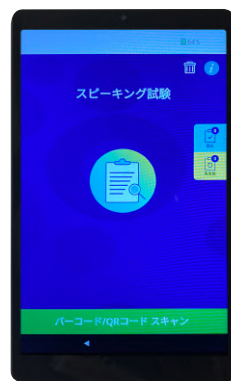
使用する機器は中学校英語スピーキングテストのために用意しています。

タブレット：

- ・ バックアップのための音声録音されます。
- ・ 録音の状況を、「見て」確認できます。
- ・ 画面上で文字の大きさを選択できます。

ヘッドセット：

- ・ 耳をしっかり覆い、集中できるように設計しました。



◆タブレットのサイズ

幅 197.97 x 奥行 119.82 x 高さ 8.95 mm 重さ約 320 g

装着時にマイクは左側にきます

5

問題 | どのような問題が出題されますか？

サンプル問題は、東京都のサイトで公開しています。

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/esat-j.html>



テストは、2 学期までに学習した内容を目安に出題します。

※次の教科書の範囲を学習しておきましょう。

ESAT-J YEAR 1・ESAT-J YEAR 2 の出題範囲		
教科書名 ※アルファベット順	ESAT-J YEAR 1	ESAT-J YEAR 2
BLUE SKY	p.93 (Project 2) まで	p.90 (ジェスチャー) まで
Here We Go!	p.103 (SING A SONG②) まで 及び 帯教材 Let's Talk!	p.94 (SING A SONG ②) まで 及び 帯教材 Let's Talk!
NEW CROWN	p.112 (グリーティングカードを送ろう) まで	p.90 (Project2) まで
NEW HORIZON	p.100 (Small Talk! ②) まで	p.104 (Let's Listen ⑥) まで
ONE WORLD	p.100 (Reading ②) まで	p.94まで (Reading ②) まで
Sunshine	p.94 (Power-Up 5) まで	p.88 まで (Word Web ④) まで

6

評価

「コミュニケーションが達成できているか（相手の求めていることに答えているか）。」

「言語使用は適切であったか。」

「相手に伝わる音声で話せているか。」

の三つの観点で評価します。皆さんが話す内容は人によってそれぞれ異なりますので、「できること」を評価していきます。

ESAT-J YEAR 1、ESAT-J YEAR 2 では、自分の英語力について評価されますので、他の生徒の評価と比べるものではありません。

基準に達していれば全員が最上位の評価を得ることもあります。評価に加え、今後の目標を設定し、学習の計画に役立てるために、「学習アドバイス」をお伝えします。

結果は 4 月以降に通知されます。

7

タブレット画面の表示

タブレット上の指示文にはルビがついています。また、全てのイラストを白黒で見やすいように表示します。

8

特別措置

障害等のある生徒の皆さんには、学校と連携を図りながら対応します。

Q どのような準備をすればよいですか？

A テスト問題は中学校の英語の教科書の範囲から出題されます。テスト対策として特別な準備は必要ありません。授業で学習した内容を復習し、自分自身や友達、英語の先生、ALT の先生と英語で話す練習をするとよいでしょう。

令和 5 年度のサンプル問題は、東京都のサイトで公開しています。

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/esat-j.html>



普段の授業で行っているペア・ワークやグループ活動、スピーチやプレゼンテーション、教科書の音読などの活動について、これまでどおり取り組みましょう。

加えて、授業で行った教科書の音読などの活動を思い出し、もう一度声に出してやるなど、家で復習することで十分に力を付けることが可能です。

「話すこと」の力を付けるためには、読んだり聞いたりして英語を理解する力や、「書くこと」の力も必要です。それぞれの活動にしっかり取り組みましょう。

Q 解答時にはどのようなことに注意すればよいですか？

A 採点者はあなたが話した英語を聞いて、相手（問題）の求めていることに答えているか、その場面に合わせて（語いや表現の種類も含めて）どれだけ多くのことが言えたか、どれだけ分かりやすく話せているかを採点します。大切なことは、あなたが英語で「できること」を十分に示すことです。同じ教室で同時に他の人も受験しますが、他の人の声があなたの声として採点されることはありません。

問合せ先

東京都教育庁 グローバル人材育成部

国際教育企画課 国際教育推進担当

電話：03-5320-6865